

な～に谷っ戸ん田 3年目の25 回目

赤米の収穫

とき 平成 21 年 11 月 7 日 (土) 9 : 30 ~ 17 : 30

ところ 堀之内の田んぼ、谷っ戸ん田休憩スペース、谷っ戸ん田、谷っ戸ん田横のハウス

天気 晴

参加者 吉田、柴田、藤田、磯、久保、高橋、高見、高田(妻)、坂本、松尾、霧生、テツさん
(12 名、 は午前のみ参加)

午前

【 赤米の稲刈り 】

- 全員で堀之内の田んぼへ移動。堀之内の田んぼでは、カンニホ(神丹穂)とベニロマンの二種類の赤米を作っている。本日のメイン作業はこれらの刈り取りと脱穀である。
- カンニホは丈が高いせいもあってほとんどが倒れていた。このため手刈りでの刈り取りを行う。一条刈りの稲刈機をテツさんが操り、倒れていない箇所を刈る。11 人の刈り手で競ってもテツさん&一条刈りにはかなわなかった！
- 手刈り分は結束せずに脱穀することとした。刈り取りは 11:00 頃に終了。
- テツさんがハーベスタを持って来てくれるもエンジントラブル発生。プラグ交換にて 11:30 ごろようやく始動。しかしハーベスタはどうも調子が悪く物がつまってしまう。稲穂の水分で粉塵がだんごになっている感じ。
- ハーベスタ作業と並行して、結束していないバラけた藁をまとめる作業を行う。
- 機械の調子を伺いつつ作業したが、12:20 ごろ途中で作業中断。脱穀作業は 3 割方しか完了できていない。
- 全員、一旦谷っ戸ん田に戻る。

昼ご飯

谷っ戸ん田休憩スペースにて各自昼食。

午後

13:40 ごろから作業再開。

【 赤米の脱穀 】

- 全員で堀之内の田んぼへ移動。
- ハーベスタ、再始動。しかし調子は悪いまま。
- テツさんがハーベスタに見切りをつける。2 号機を持ってくると行ってひとり田んぼを去る。残された我々は、適当に藁のまとめなどをする。
- テツさんがハーベスタ 2 号機を持って来る。エンジン快調。作業も快調。
- お茶時間を経て 16:00 頃作業完了。
- 堀之内田んぼの赤米収量は、30Kg 籾袋で、カンニホ 3 袋、ベニロマン 6 袋だった。

- 来年の種用用に、カンニホを5束(大)、ベニロマンを20束ほど脱穀せずに確保した。
- 堀之内の田んぼから撤収。全員、谷っ戸ん田に戻る。

【 種用天日干し、用の乾燥、稲藁積み 】

- 谷っ戸ん田の干し竿に種用用の稲束を干す。
- 谷っ戸ん田となりのビニールハウス内にビニールシートを敷き、収穫した用を拡げて干す。
- 谷っ戸ん田休憩スペース奥に藁を積上げる。小振りの藁におを3つ作った。

3時休憩時に、テツさんから飲み物と中華饅頭を差し入れしていただきました。

藁の積み上げ方を忘れないようにイラストで記録しておこうと思っています。

ニンジン、ダイコン、セロリをおみやげにいただきました。秋ってうれしいですね。

次回作業予定：11月14日(土) 9:30 - 大豆収穫 (3ヶ所 = 堀の内、谷戸入り口、赤白鉄塔下)

記録員：磯 直行